

ジェンダーの観点から読む 世界文学 男たちが描いてきた女性像

Zoomによるオンライン開催



2020年 11月26日(木)

17:20 ~ 19:00

沼野充義(ぬまのみつよし)教授



《プロフィール》

1954年東京生まれ。名古屋外国語大学副学長。ロシア・東欧から世界文学まで視野に入れる文学者。『ユートピア文学論』で読売文学賞受賞。著書に『亡命文学論』『W文学の世紀へ 境界を越える日本語文学』、訳書にナボコフ『賜物』、チャーホフ『新訳チャーホフ短篇集』、スタニスワフ・レム『ソラリス』など。日本ペンクラブ理事。ベネディクト・ポラク賞。

司会：出口真紀子教授（上智大学・英語学科）

17:20-18:30 ご講演

「ジェンダーの観点から読む世界文学——男たちが描いてきた女性像——（ロシア文学から、クンデラ、村上春樹まで）」

18:30-19:00 質疑応答

■対象：本学学生、教職員、一般

■言語：日本語

■要事前申込：下記URLまたはQRコードよりお申し込み下さい。

※お申込み締切：11月24日（火）

<https://eipro.jp/sophia/events/view/EU20201126>



* ご参加に必要な情報は、お申し込み受付完了後、講演会の前日（11月25日）にメールにてご案内申し上げます。

■主催：上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学中央図書館7階721B

■共催：科研費基盤研究(B)「近代イギリスにおける感受性文学と誤認」(代表：小川公代)

